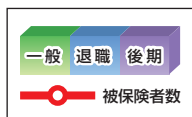
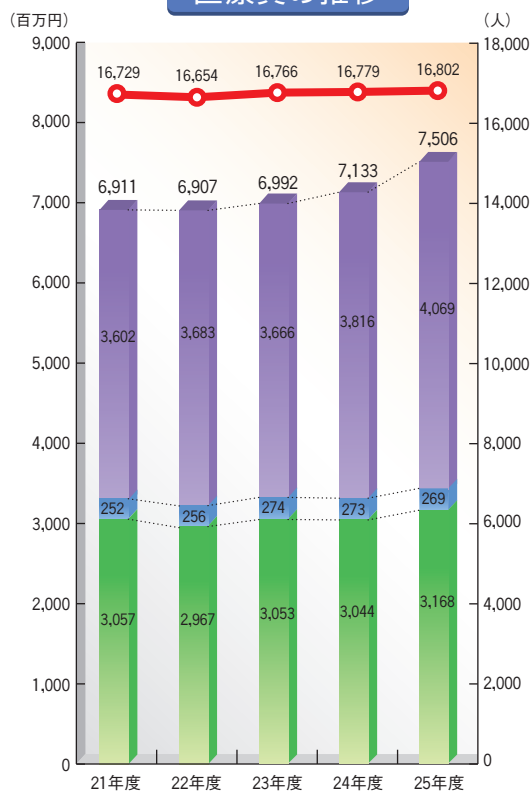


さくら市

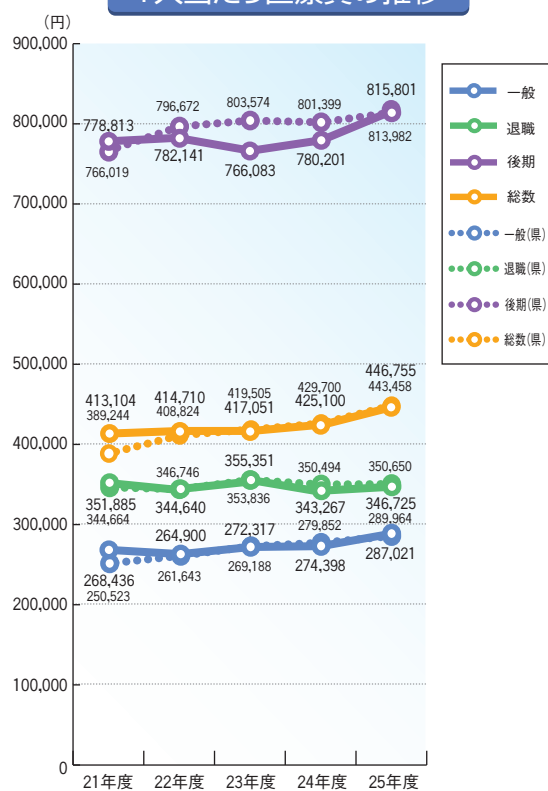
さくら市



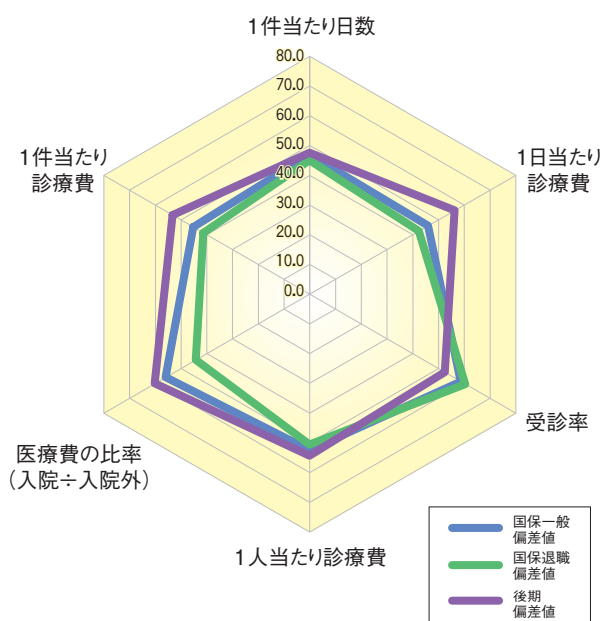
医療費の推移



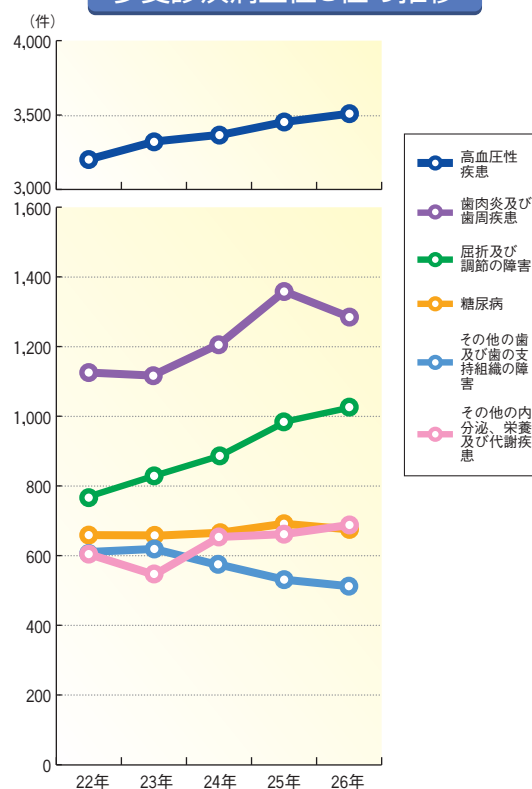
1人当たり医療費の推移



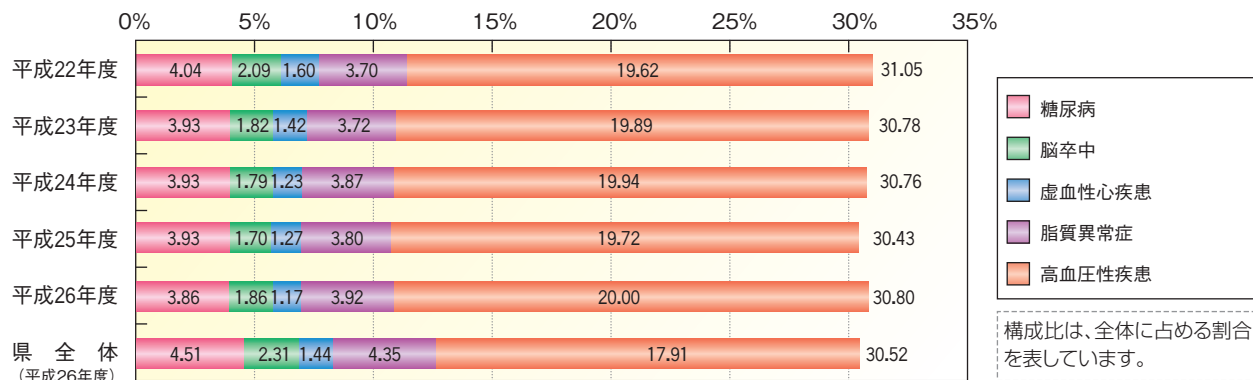
平成25年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)



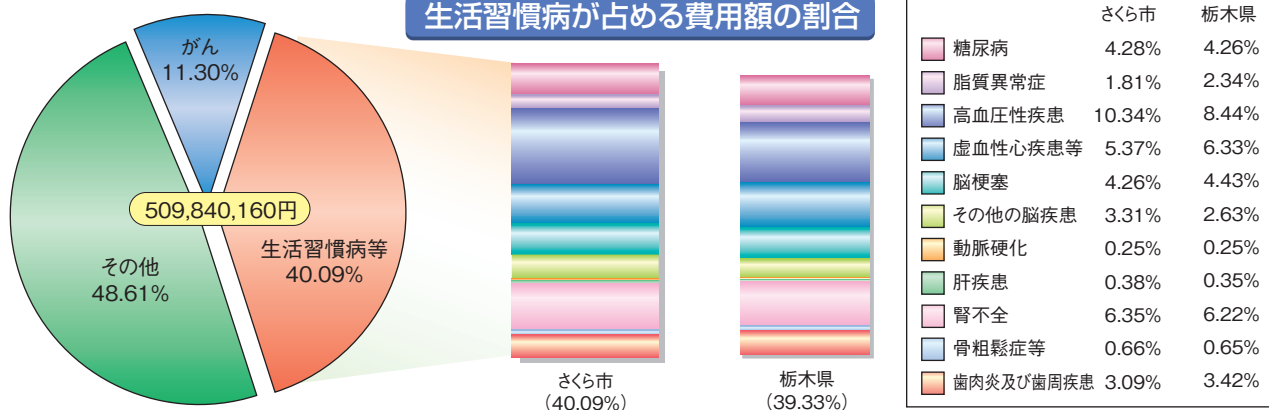
多受診疾病上位6位の推移



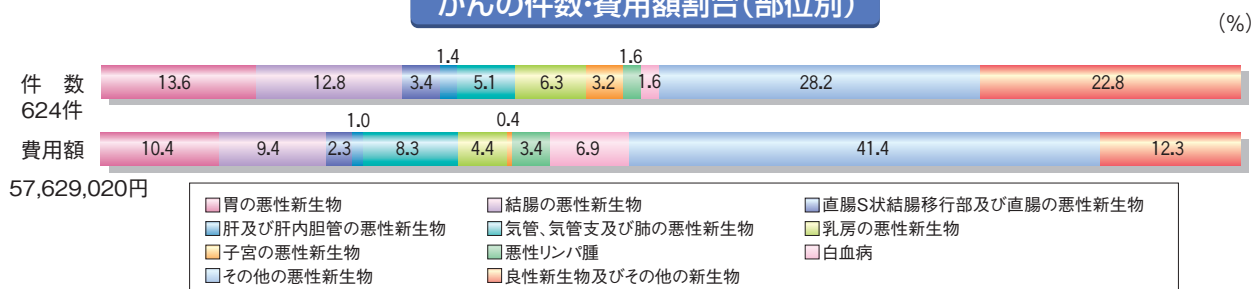
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



さくら市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,168,421千円(104.1%)、退職268,712千円(98.5%)、後期4,069,286千円(106.6%)で、全体では7,506,418千円(105.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は16,802人で、内訳は一般11,039人、退職775人、後期4,988人である。前年度と比較すると全体で100.1%とほぼ変化はない。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は446,755円(21,655円増)、一般は287,021円(12,623円増)、退職は346,725円(3,458円増)、後期は815,801円(35,600円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も1件当たり日数は県平均を下回り、受診率及び1人当たりの診療費は県平均を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも3位の屈折及び調節の障害は年々増加傾向にあり、平成22年と比べ件数で1.34倍、費用額で1.67倍となっている。

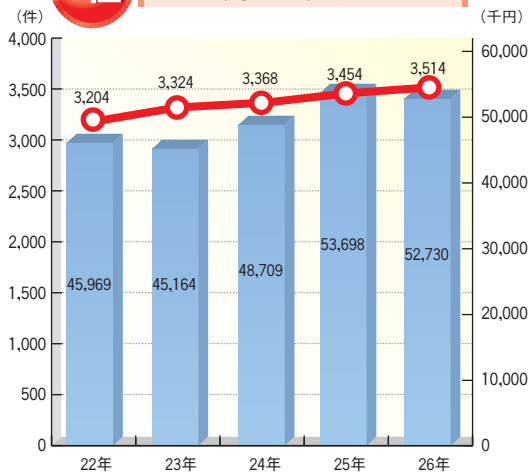
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、常に高血圧性疾患の構成比が高く、その傾向は県全体に比べより強く見受けられる。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が509,840,160円で、がんが11.30%、生活習慣病関連が40.09%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.34%、腎不全6.35%、虚血性心疾患等5.37%、となっている。

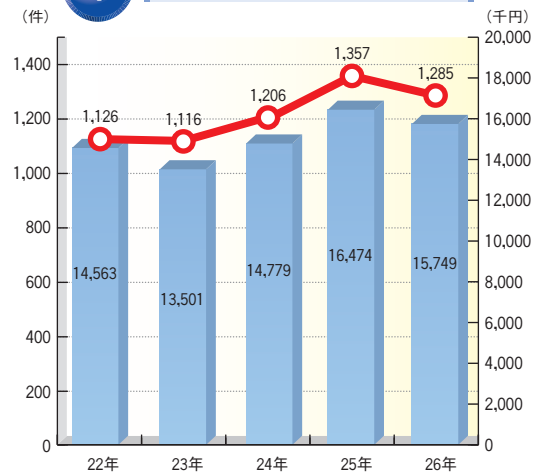
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

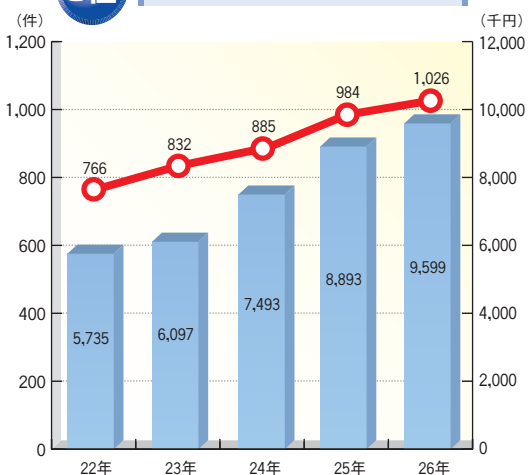
1位 高血圧性疾患



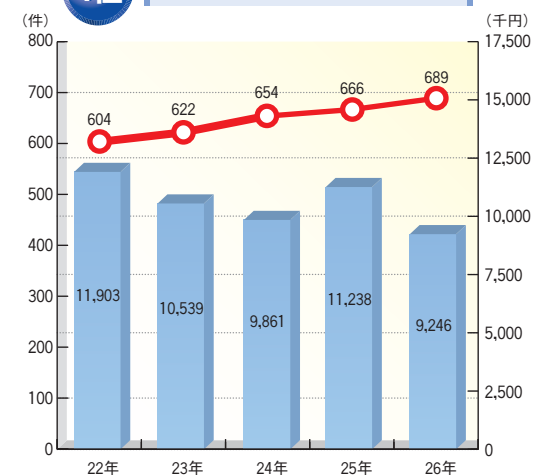
2位 歯肉炎及び歯周疾患



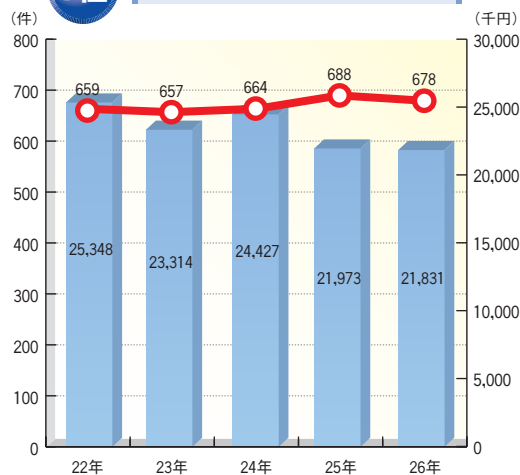
3位 屈折及び調節の障害



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 糖尿病



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

